

■地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

「地域密着型金融」とは、「お客様との親密な長いお付き合いの中で蓄積してきた情報を基に行っていく銀行取引」のことです。当行の地域密着型金融の推進に関する基本的な理念は、「地域貢献に関する考え方」（P1）に記載した行是の理念そのものであり、行動の規範として役職員に深く浸透しております。

七十七銀行では、こうした基本的な理念に基づき、以下のとおり中期経営計画を策定しております。

2018年4月よりスタートした新たな中期経営計画のもと、当行の目指す銀行像である「お客さまのニーズに最適なソリューションでお応えする『ベスト・コンサルティングバンク』」の実現に向け、コンサルティング力を強化し、お客さま満足度の向上を図るとともに、地域社会・経済の発展に貢献してまいります。

《中期経営計画》

■ 名 称

「For The Customer & For The Future

～ベスト・コンサルティングバンク・プロジェクト～

■ 期 間

3年間

【2018年4月1日～2021年3月31日】



■ 基本方針

お客さまのニーズ・課題を把握し、最適なソリューションを提供する「コンサルティング」により、お客さまの満足度および当行に対する信頼度をより一層高めていく。また、これらの取組みを通じて、収益力の向上ならびに従業員の満足度の向上を実現していく。

■2018年度地域密着型金融推進の主な施策

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

- 創業・新規事業支援の拡充
- 事業承継・相続対策への対応
- 事業再生・経営改善支援への積極的な関与

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- リスクマネーの積極的な供給等を通じた震災復興支援への継続的な取組み
- 事業性評価を活用した円滑な資金供給

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

- 情報ネットワークの強化・活用
- 地方創生への貢献